



2020年(令和2年) 9月15日

第72号
発行



一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL (06) 6419-3897

FAX (06) 6419-3899

E-mail: ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

http://www.ikuseikai-ama.com/

新しい活動と新しい生活様式

今回の決算総会は、日本のみならず世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響で当初予定していた会場が利用できなくなったためやむなく地域活動支援センターかがやきの作業室で行うことになりました。会場の都合上、来賓の方々、一般会員の皆さんの出席をご遠慮いただき、理事・監事・書記、議長のみで行いました。

新しく建設予定の育成会事務所を含めた建物について現在積水ハウス様と打ち合わせを何度も行っていますが、コロナウイルスの影響で完成時期・設備・費用等変更せざるを得なくなっています。完成時期は、当初予定の9月末は厳しく約2か月遅れる見込みです。また、節電と災害時を想定し太陽光発電設置を予定していましたが、費用の面で断念せざるを得なくなりますが、災害時に心配な面もあるので蓄電器で対応することにしました。何卒ご理解いただきますようお願い致します。

また、コロナウイルスにより、緊急事態宣言を受け外出自粛が打ち出され、大変不自由で不安な毎日をお過ごしだと思います。育成会としても理事会、役員会をリモートで開催し、慣れないことにご不便をおかけした事と思います。また、総会案内等取り急ぎのプリントはメール便にて4月末に各家庭に送らせて頂き、議案書も第2回目のメール便で送りました。

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会
会長 井上 三枝子

その時に委任状の返信とともに何人もの方からメッセージが添えられていました。緊急事態宣言という日本中が閉塞感に包まれ、気分が晴れない日々の中での温かいメッセージには、育成会ならではのつながりを改めて感じられ嬉しかったです。

第2波に備え政府が打ち出している新しい生活様式にシフトしながらワクチンや特効薬が早期に開発されます事を期待いたします。



添えられたメッセージ

(2020年5月28日決算総会挨拶抜粋)



5月、6月の理事会はリモートで行いました。慣れない事でドキドキでしたが、無事終える事ができました❤️

地域活動支援センターかがやき休止のお知らせ

本年3月31日をもちましてかがやきが休止となりました。これまで育成会の事業として、多くの保護者の皆様のご協力で運営してきました。卒業後の待機場所として、また、就労後のUターンの場所として受け入れてきましたが、支援職員を確保するのが難しくなり、利用者8名に減少したのを機に休止する事になりました。利用者・職員とも4月より新しい場所で一步を進んでいます。



地域活動支援センターかがやき(七松)

建て替え中～!!

11月末完成予定



育成会では長年入所施設建設を目的として積み立ててきましたが、本来の目的である入所施設の建設はこれからも難しく、施設建設基金の用途について数年前よりAプロジェクトチームⅢを中心に検討を重ねてきました。

そして、昨年1月末に会員全体にアンケートを採り、令和2年1月16日臨時総会を行い、地活かがやきと事務所、そしてバリアフリーの浴室を備えた建物を建設することに決まりました。

その後、積水ハウス様と何度も打ち合わせをして7月26日に無事地鎮祭を行うことが出来ました。いよいよ建設が始まりました。11月の完成を皆さん楽しみに！



(上)解体前
(右)解体の様子

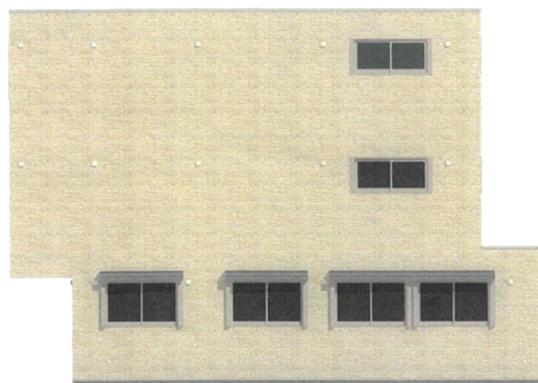
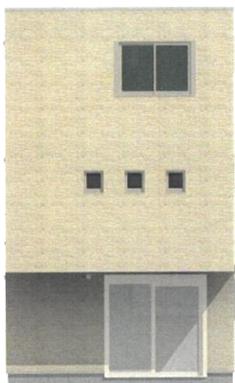


7月26日雨の合間をぬって地鎮祭が無事執り行われました。

<建て替えまでの経過>

- 2019年5/21 積水ハウス様と打ち合わせ開始。
- 2019年6/21・2020年2/10 AプロⅢ委員に積水ハウス様から建物について説明。
- 2020年1/9～ AプロⅢ委員と理事代表で積水ハウス様と打ち合わせ
- 2020年1/16 臨時総会にて積水ハウス様から設計図の説明及び施設建設基金積立金解約の承認を得る
- 2020年1/31 積水ハウス様と建物建設の契約をする。2020年6/19 最終契約
- 2020年7/1 解体工事⇒地鎮祭(7/26)⇒建物建設⇒11月末完成予定

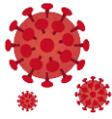
<完成予想図>



- 1F…かがやき(多目的室)
音楽療法、会議にも使用
- 2F…リラックスルーム
お風呂(リフト付き)
- 3F…事務所、相談室

特集

新型コロナウイルスに負けるな！



今年に入ってから新型コロナウイルスが猛威を振るい3月から学校は休校になりついに4月7日に政府より緊急事態宣言が出されました。全国で解除されたのは5月25日、この間医療関係の方、福祉現場の方、学校の先生方等それぞれ感染リスクがありながら精一杯対応して頂いたことに深く感謝いたします。そして何より本人・家族の皆様の頑張りに拍手です！今回の「土と芽」では新型コロナウイルスや自粛生活中的の様子を特集しました。コロナウイルスはまだまだ収束しそうでありませんが、with コロナで毎日を過ごしましょう 

疫病退散



早くコロナが収束しまあように



新型コロナウイルスって？

コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、以前発生したSARSやMERSのウイルスが含まれます。今回、世界的に大きな被害をもたらしているコロナウイルスは、今までと少し性質の違う新しいウイルスという事で、「新型コロナウイルス」と呼ばれています。ウイルスは自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に入り込んで増えていきます。ウイルスの表面に突起があり、その見た目が王冠によく似ていることから、ギリシャ語で王冠を意味する「corona(コロナ)」という名前が付けられたそうです。



どのように感染しますか？

主に感染者の咳やくしゃみ、息を吐いた際にでる飛沫を通じて感染します。また、ウイルスのついた手で口や鼻を触ったりすると感染することがあります。



PCR検査って何？

PCR検査は遺伝子を増殖させて検査する方法で現在コロナウイルスの確定診断に用いられています。

テレビや新聞でPCR検査により感染者〇〇人という報道があるとドキドキしますが発表されている感染者数はPCR検査に反応した**陽性反応者**の事です。陽性反応者とはウイルスが体の中に入った人の事で約8割の人が感染には至っていません。

感染者とは陽性反応者の内ウイルスが細胞内に侵入し増殖した人です。軽症の方も多くいますが、高齢者や基礎疾患のある人は重症化しやすいので油断は禁物です。

過度に恐れず、正しく理解し予防しましょう。



感染を予防するには？

- *「三密」(密集・密接・密閉)を避けましょう。
換気が悪く、人が密に集まって過ごすような集団で集まることを避けましょう。
- *こまめに手洗いをしましょう。
- *咳エチケットを心がけましょう。
咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖等で口や鼻をおさえましょう。



かかったかな?と思ったら...

感染すると、発熱、咳、倦怠感といった症状が出ます。風邪の症状や37.5度以上の発熱が続く方、倦怠感や息苦しさ(呼吸困難)がある方で、かかりつけ医のある方はまずは電話で相談しましょう。

または、尼崎市：帰国者・接触者相談センター (☎06-4869-3015)

新型コロナウイルス感染症一般相談ダイヤル (☎06-4869-3008) に、相談してください。

(受付時間：平日午前7時～午後10時30分、土・日・祝午前8時～午後9時)

兵庫県は、一人ひとりに合わせた新型コロナ対策をLINEでサポートしています。兵庫県LINE公式アカウント：「兵庫県-新型コロナ対策パーソナルサポート」LINEで友達となり、自分の状態を入力することで、状態に合わせた新型コロナウイルスに関する情報提供があります。以下のQRコードから「友だち追加」をしてください。



緊急事態宣言中...どのように過ごしましたか?



学校・園の取り組み

* 阪神特別支援学校

- 家庭学習用の課題プリントを個別に郵送又は配布
- ホームページに手洗いや手話の学習、教員による演奏、体操、ダンス動画をアップ
- 担任からの電話での聞き取り（3ヶ月に2回）

* あこや学園

- 分散登園、園庭開放を継続的に行っていた

【公立学校】

* 幼稚園

- 月に1度の電話連絡
- 独自の冊子を配布、工作の課題やレシピが載っていた

* 小学校

- 児童ホームに入所している子どもは午前中は学校で自習可能だった
- 課題プリントは分散登校での手渡しまたは親が取りに行き、後半は先生によるポスティングも
- 担任からの電話での聞き取り（3ヶ月に2回～頻繁にあった方まで様々）
- 電話連絡はなく、学校からのアンケートのみの方も
- 家庭訪問があった方も（担任の判断による）

* 中学校

- 電話連絡1回、家庭訪問1回

学校の対応で良かったこと



- メールの連絡が頻繁にあったので、状況がわかりやすかった
- (阪特の) ホームページが頻繁にアップされたので、体操などを見て学校を忘れずにいられた
- 新担任の先生とゆっくりお話できて、登校日が始まるまでに子供の事をよく知ってもらえたことができた
- 新学年のクラス担任が、昨年の担任が1人持ち上がったことや、新しい先生が少なかった事
- 自宅待機中に行事予定や提出書類を郵送で送ってもらえたこと

学校の対応でよくなかったこと



- 電話連絡が少なかったこと
- (阪特の) ホームページでも先生がみんなマスクをしていて顔が見られなかったこと。またもう少し個人に寄り添ったメッセージがあればよかった
- 宿題で送られてきたプリント類が子供に合わなかったこと。最初は簡単すぎるものばかりだったので、もうちょっとレベルを上げて欲しいとお願いしたら、まだ習っていないものなどが送られてきた
- (あこや学園の) 園庭開放は上の子を置いていけなかったので結局は利用できなかった
- 阪特は一斉登校になるのが遅かったので、地域の小学校と同じくらいに一斉登校にしてほしかった



家での過ごし方

◆◆これがあって良かった！◆◆

ネット環境・アレクサ・タブレット・本人が独占できるテレビ・トランポリン・エアロバイク・ホットプレート・自家用車（出かけたり、中でお弁当を食べたり）・犬（遊び相手、散歩に行ける）・段ボール（工作）・コープの宅配



◆◆家遊びいろいろ◆◆

- DVD や YouTube 鑑賞
- Wii スポーツ ●ラジコン ●ビーズ通し
- 風船遊び（ふくらませる、手でポンポンラリー、キック）
- ベランダで土いじり、水やり
- 小麦粘土（小麦粉と塩 1：1 に水適量）
- ホットプレートやタコ焼き機で親子クッキング



困ったこと



- ・TV やタブレット中心の生活で運動不足になったり、生活リズムが崩れたこと
- ・食事が簡単なものになり栄養面が心配になったこと
- ・家事に育児そして、教育とイレギュラー続きで負担があり、親がカリカリしてしまったこと
- ・こどもが家の中を嫌がり、ショッピングモールなどに行きたがり泣き叫んだこと
- ・家の中に居るのが困難な子なので、好きならば脱走していたこと
- ・こだわりが強くなったこと（物集めや物並べ、服のこだわりが強くなり、ずっと同じ服を着るようになってしまった）
- ・夫がテレワークができず出勤していたので、子供の預け先がなく手続きになかなか行けなかったこと

工夫したこと



- ・なるべく生活リズムを崩さないよう就寝時間は変えなかったこと
- ・午前と午後に宿題タイムを設けて、その際に学校のチャイム音を鳴らして切り替えさせたこと
- ・出来るだけ笑顔で過ごす事を努力したこと（母）
- ・洗濯物を干してもらおうとか、食器の洗い物を見よう見まねでやらせたこと
- ・ドライブに出かけたり、TV からなるべく離れられる時間を作るようにしたこと
- ・スケジュールで1週間くらいの予定を伝えて、見通しを持たせたこと
- ・定期的な通院などは、過度に自粛せずに予定通り連れて行ったこと
- ・ベランダでシャボン玉をしたり、アナログゲーム（双六やカードゲーム）をしたりして過ごしたこと

デイでどうしてた？



- ・自粛していた(7名)
- ・利用していた(代替サービス含む)(14名)
〈代替サービスについては P6★2 参照〉



～代替サービスの内容～

- LINE のテレビ電話でのオンライン授業（歌、絵カード、カルタ、図工）
- 公園へ散歩（1～2時間）
- 学習プリントの配布
- 交換日記 など

放課後等児童デイの取り組み



	A児童デイ	B児童デイ	C児童デイ
＜★1＞ 一日の受け入れ人数	8～10名	8～9名	6人
スタッフの人数	6名、多いときは7名	6人程度	5人
活動内容の変化や気をつけたこと	<ul style="list-style-type: none"> 除菌、加湿器、空気清浄機を新調し、感染予防を徹底した 頻繁に電話対応や、訪問、手紙配布などを積極的に行い、自宅での保育・自粛で不安がないか話を聞いた 4月末～5月は、土曜を休業にし、利用者及び従業員、従業員家族の感染予防に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> トークンを利用した手洗い・うがいの徹底（1日6回程度）、マスクの着用、換気、おもちゃや机、ドアノブ等の消毒作業 1日2回の検温、送迎時、車内の人数の制限 お出かけは近くの利用客の少ない公園のみ、クッキング等の活動は中止 午前、午後と分散利用の協力と実施 （従業員には）時間差出勤の実施や勤務時間の相談 	<ul style="list-style-type: none"> 外出やプログラムが制限されたので、新プログラムや室内運動、笑いでの心身の安定を図り、免疫力がアップできるよう努めた どのようにコロナと共生していけるか（〇〇すれば大丈夫）と伝え、手洗いやマスク着用習慣が負担なく身につくように練習を重ねた 小グループでの分散活動 除菌や換気等による安全管理、危機管理
＜★2＞ 代替サービスの内容	<ul style="list-style-type: none"> 5名の利用者の方へ代替サービスを行っていた（自宅まで行き自宅周辺を散歩等） 気になるご家族に関しては自宅訪問して生活支援への指導を行った 必要であれば出来るだけ訪問や電話するなどし、話を聞く回数を増やした 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの学習支援と身体トレーニング、レクリエーション 学習プリントなどの教材の提供 理学療法士による訪問リハビリサービス 	<ul style="list-style-type: none"> SNSやビデオ通話、郵便でのお手紙、交換日記のやり取り 訪問して散歩などの支援 個別に成長や好みに合わせた作業課題やプリント課題の提供
困ったこと	<ul style="list-style-type: none"> 外出や大きなイベントができないこと 公共施設が休業で過ごせる場所がなくなった 子どもの間隔をあけることがむずかしい場面もあった マスク着用で工夫が必要な利用者もおられた 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の分散登校や短縮利用を含め利用時間がバラバラな為、送迎を組むのが大変だった 	<ul style="list-style-type: none"> 国の通達はあるも人手や物資の不足、特性により出来ないこともあることが大変だった
収入の変化	（土曜日休業のため）多少減収	多少減収	減収
その他取り組んでいたことなど	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用したZOOMでオンラインの個別指導 朝の会の配信（zoom）では、体操・絵本の読み聞かせ（紙芝居）をした 学校の授業の形式で、30分間の集団学習の時間をとり、6月の学校に向けて準備を行った 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの利用受付（利用者向け） オンラインでの休暇届等の受付（従業員向け） 	<ul style="list-style-type: none"> 消毒活動が新しいプログラムとして定着した 不安感や危機感ではなく、生き抜く力を子ども達に身に付けてもらえることを目標にサポートを行った 代替サービスでは、子ども達も新しい課題やコミュニケーションを楽しむことができたと感じている

＜★1＞デイの一日の受け入れ人数は通常は最大10名です。

＜★2＞代替サービスとは、感染を避けるため利用者が欠席する場合や事業所がサービスを縮小する場合に認められている、訪問や電話で行う代替的なサービスのことです。



できることが増えたよ！お手伝いチャレンジ

- ◆お菓子作りやお料理
- ◆ミシンで雑巾
- ◆洗濯物干し
- ◆食器洗い
- ◆ご飯をつく・お茶を注ぐ
- ◆お箸の練習
- ◆留守番チャレンジ（中1）

小学校高学年から15分、30分とだんだん長くしていき、この休みの間に半日でも留守番できるように！インターホンに出てしまうので、宅配便は『配達予定通知メール』が届くようにすると便利♪



通所事業所の取り組み

	A事業所	B事業所	C事業所
自粛要請を しましたか	若干ですがした	した	した
要請時の 通所率	4月：72.8%、 5月：86.3%	7～8割 ・連休明けには、ほとんどの利用者 さんが出勤。生活リズムが崩れる とパニックになる利用者、また家 族も高齢で自宅で受けとめること は難しくなっています	4月：62.0% 5月：69.7%
開所する にあたり 工夫した 事、気をつ けた事	<ul style="list-style-type: none"> ・排煙窓を開け常時換気 ・職員はマスク着用 ・利用者には極力手洗い・消毒 ・食事や誕生日会などの行事・作業等 ・一度に集まる人数を分散させ実施 ・毎朝、検温後出勤・通所 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、換気 ・1日2回の机、椅子、手すり等の消毒 ・外部の方の来所をご遠慮いただいた ・食事時間をずらして、密にならないようにした ・行事や会議等中止になりましたが、利用者の皆さんはよくふんばったと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェットタオルを使用禁止にしペーパータオルを使用、消毒の徹底 ・給食の座席を間引きし、時間制でわけ蜜の回避 ・食堂と厨房の間にビニルシートを設置 ・更衣支援は必要な方のみの実施 ・3蜜を回避する活動プログラムへの変更 ・モニタリング等は電話での対応 <p>*職員に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク、時差出勤、マイカー出勤 ・携帯用消毒スプレーボトルを所持
第2波が 来た時の 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクやフェイスガード、消毒液などの衛生用品の備蓄 ・基本的には厚労省などの通知に従うつもり ・GHでの支援は継続する必要があることや高齢、基礎疾患のある方などの不安は強くある 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度会議で検討すると思いますが、感染者の人数にもよると思っています ・福祉施設も障害者という立場の弱い人、病気を抱えた人が通ってきているので、行政からの支援をしてほしいと強く願います（報酬の問題、マスク、消毒液の問題等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスターにならないようビニルシートなどの物理的環境の整備（作業室等）

母のつぶやき

清流園家族会会長 相木 力子

今年に入り「新型コロナウイルス」のニュースに聞き入っていましたが、今思うとあれが日本での始まりだったように思います。水際で止めて、感染拡大を防止。医療現場でのニュースを聞くばかりで、私は“守る”という思いだけでした。4月7日には総理大臣から国民へ向けての異例の通達がありました。外から見るより、大変なことが起きているものを感じました。三密（密閉、密集、密接）をさけましょうと簡単そうでしたが、何をすることもとても難しい事でした。それにより今では誰もが生活様式をかえなければならぬようになりました。そのために、我が家は4月11日から1か月を目標に自粛を決めました。そのことを決めるのにとても悩みました。これまで二十数年、がんばって“仕事”と通所してきた事はどうなるのか？卒業後、昼間の生活は通所先でしたので24時間家族との生活は大丈夫か、本人にどう伝えるのかなど色々悩みました。娘には通所先を休む事を毎日伝える、早寝早起きをいつものように、これだけは変えないようにと決め、リラックスした気持ちで始めようと思いました。おかげさまでいつもの時間に就寝、いつもの時間に起床、いつもの時間に朝食を摂ることができました。午前中は清流園より紙切りの仕事をもらいました。毎日20分～30分、紙切りをして過ごしました。

午後からは車で家族と一緒にドライブし、好きな前座席に座り、時には景色をみながら「緑、みどり、緑」と指で差し「色んな緑があるね」と指差しをしながらのドライブでした。人混みの中に行く時にはマスクを使う事を伝え今ではマスクを着ける時間もずいぶん長くなったように思います。丁度1か月の自粛期間“守る”ことを目的には父親79歳、母親70歳には楽な事ばかりではありませんでした。本人のせいではありませんが、どんな時でも家族支援というものがあってもよいのかなと思うばかりです。

今後も続く事になるだろう、新型コロナウイルスの感染予防策のシミュレーションをして、PCR検査の迅速な対応を望みたいと思います。

全体研修会

生命保険信託セミナー「自分のいない未来へ」 8月23日

講師：ライフプランナー 澁谷 誠太郎 氏
「保険金にこめた想いがしっかり届くように」「お金を受け取った人がこまらないように」と、生命保険会社による定期的に保険金を受け取れる方法を、澁谷氏にお話をいただきました。親亡き後の選択肢の一つとして参考になりました。



「星に語りて」上映会

12月12日



東日本大震災で被災した障害者と支援者の実話を基に映画化された「星に語りて」を上映しました。ネットワークの必要性や日頃からの繋がり、備えの大切さを改めて思いました。また、障害者支援の壁になる個人情報保護法も開示できるということが参考になりました。参加者全員にくじによる防災食のプレゼントがありました。



幼児期・学齢期

「先輩母との茶話会」 11月29日

子どもの障害種別による班分けをしました。

- ①自閉症の子を持つ先輩母の班
 - ②ダウン症の子を持つ先輩母+上のきょうだいを持つ先輩母の班
- 障害特性ならでは育てにくさが共通している為、情報交換も含めてとても有意義でした。後半は、全員で話を進める形で子どもの特性を理解して対処してくれる医療機関の情報交換をしました。一昔前に比べて、診察してくれる病院が増えてきたかなと思いました。



「児童デイプレゼンテーション会」 12月23日

市内にある5箇所の事業所をお招きし、特色や療育内容についてお話いただきました。各事業所で療育についての考え方に特色があり、活動内容にも違いがありました。参加者は様々なタイプのデイを知る事で、具体的なイメージを持つことができました。児童デイ同士間での質問もあり、お互いの刺激にもなったようです。



子育てカフェ

- Part1 「RPM へのワンステップ」 10月8日
- Part2 「思春期の心と身体の変化と性についてのお話会」 11月25日
- Part3 「小学部&小学生の子の母の情報交換会」 1月17日



成年期

バスツアー ～ニフレル・くりの郷～

10月5日

さわやかな秋晴れの中、総勢 52 名で出発。早速バスの中では、恒例のビンゴ大会で盛り上がりました。ニフレルでは、色鮮やかな可愛い魚たちやカピバラやカワウソに癒され、ホワイトタイガーに圧倒されました。エキスポシティで自由に昼食を摂った後、能勢の道の駅「くりの郷」に行きました。くりの郷では、思い思いに買い物をして、楽しい一日を過ごしました。



太陽の塔をバックに記念撮影
半世紀前の万博を思い出しました



仲良しカピバラ



恒例のお買い物タイム

尼崎再発見第7弾 尼崎城見学



再建された尼崎城

10月23日
勇姿を蘇らせた尼崎城見学ツアーを行いました。再建されたばかりでピカピカの尼崎城は当時の姿そのまま、石垣もとても立派でした。城郭画家として有名な荻原一青画伯が手がけた「名城手拭百城」にも残されており、そのコレクションも見ることができました。迫力満点の VR シアターもとても見応えがあり、また、お姫様や武士になる“なりきり体験ゾーン”ではみんなで変身して盛り上がり、楽しめました。その名の通り「尼崎再発見！」ツアーとなりました。



マスクにチャレンジ



新型コロナウイルス感染症予防のため街なかでは、「マスク着用のお願い」の張り紙をよく見かけるようになり、マスク着用が新しい生活様式の1つになってきています。

しかし、感覚過敏や皮膚の病気等でマスクを着けられない人達がいいます。

障害特性によりマスクが出来ないと理解を求めるのも必要ですが、マスクをすることで病状が悪化する人以外は、少しずつマスクが着けられるようチャレンジしてみませんか？

今回様々なアイディアグッズを紹介しますので参考にして下さい。



耳が痛くならないマスク



マスク練習中Tシャツや意思表示カード



おめでとうございます!

兵庫県知的障害者福祉大会 (理事長表彰)



山本千里様 (あいあい)・宮城美津子様 (小田地区)

兵庫県社会福祉大会知事表彰 「障害者自立更生者」

- 樋口 誠 様 (立花地区)
- 市明 久 様 (立花地区)
- 浦山清次 様 (園田地区)

兵庫県障害者芸術・文化祭 兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰 「知的障害者就労表彰者」

20年表彰

- 小寺 宏治 様 (大庄地区)

10年表彰

- 山畑 忠士 様 (園田地区)

令和元年度尼崎市へ下記の要望書を提出しました

令和元年度 要望書

1. 尼崎市内に複合施設の建設
 - ・高齢化、医療的ケアに対応し、ショートステイや相談支援を併設した施設
 - ・共生型サービスの推進
 - ・緊急時のショートステイの受け入れ体制の確立 (児童・成人)
 - ・特養に障害者枠を設置
 - ・日中一時支援事業所の充実
1. 知的障害児に対するインクルーシブ教育の推進
1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を
 - ・タブレット端末をコミュニケーションツールやスキルアップにつながるよう活用
1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置
1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応
 - ・一時避難所の充実
1. 児童発達支援・放課後等デイサービス連絡協議会の設置及び教育、家庭との連携
1. 相談支援体制の充実
1. 移動支援先での地域拠点作り

令和元年度 賛助会員

- | | |
|--------|--------|
| 宮下 哲 様 | 福満久晃 様 |
| 森 康佑 様 | 加藤泰子 様 |
| 島 祐貴 様 | 山元拓馬 様 |

ありがとうございました

新理事・書記紹介

〈あこや学園〉

〈書記〉



西牟田美穂



井上由希子

よろしくお願ひします

編集後記

今年度は新型コロナウイルスの為機関誌の発行が遅れ、また内容もコロナの事が中心になっています。まだまだ、コロナは蔓延していますので気をつけましょう!!
アンケートにご協力を頂いた事業所の方、会員の皆様などありがとうございました。
七松も地鎮祭が無事に終わり新しい建物を建設中です。完成を楽しみに待っていてくださいね!!